

小特集：図書館設備事例

トヨタ産業技術記念館 図書室

— トヨタグループの歴史とモノづくりの精神に触れる —

坂井 雅子



所在地：愛知県名古屋市西区則武新町4-1-35
 図書館延べ面積：409㎡
 名古屋市推計人口：2,329,438人(令和5年10月1日)
 名古屋市の面積：326.5km² (同上)

トヨタ産業技術記念館について

1994年、トヨタグループの共同事業として、かつて豊田紡織株式会社本社工場であったグループ発祥の地に設立しました。建築史的にも貴重な赤レンガの建物を産業遺産として保存・活用し、近代日本の発展を支えた基幹産業のひとつである繊維機械と、現代を開拓し続ける自動車の技術の変遷を紹介。「研究と創造の精神」と「モノづくり」の大切さを、本物の機械の動態展示と多彩な実演を通じて伝えています。

図書室について

当館図書室は、1994年の開館と同時に展示場入口前のレストランに隣接する場所にオープンしました。展示を補完する資料として、自動車や繊維機械を中心とした産業や技術に関する文献を収集。研究者や専門家の期待に応えられる専門図書館を目指しました。併せて、子供たちの利用や地域へのサービスも考慮して、発明家の伝記や工作、折り紙、自由研究等に関する児童書も備えています。

2005年には、開館10周年の記念事業として、メイン展示館のひとつである自動車館を増設したことに伴い、現在の2階へと移設しました。

読書に適した静かな環境ですが、人通りが少なく認知度が低いのが新たな課題となりました。

図書室リニューアルの経緯

2020年、当館の学芸活動方針のひとつに図書室

の充実が盛り込まれ、利用者層に応じた改善を進めることになりました。

まずは一般の利用者に向け、利用者の認知向上と展示との連動を図るべく、展示館の出入口前に図書コーナーを設置。見学の合間にくつろぎながら本に触れあう場所として、2022年に「本の森」をオープンしました。展示に関連した本や雑誌だけでなく、幼児向けの絵本や小学生向けの図鑑も揃えました。



本の森

つぎに、本の貸出ですが、当館の運営母体であるトヨタグループ従業員向けに限定して行ってきましたが、所蔵資料を更に活用できるよう、メールや社内便を利用した遠隔貸出サービスを新たに2022年に開始しました。

最後に、館員に向け、展示の勉強や来客対応のスキル向上に関する所蔵資料を充実するとともに、調査研究に専念できる環境づくりとして、図